

平成22年度 評価計画及び自己評価

( 計画・中間・**最終** )

音戸中学校区 校番35 学校名 呉市立田原小学校

<p>a 学校教育目標</p>	<p>豊かな人間性と自立心をもつ子どもの育成 一義務教育9年間を修了するにふさわしい学力 と社会性を育成する—  ( 自ら学び 心豊かな子どもの育成 )</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>(学校の使命) を創造することのできる子どもを育成する。  (将来の学校像) 学校教育を推進する。 小規模校の特色を生かした教育の推進を し、他校との交流を深め、社会性を養う。</p>
-----------------	--	------------------------------	---

<p>c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点</p>	<p>地域が学校教育に協力的で、家庭的な雰囲気のする学校である。少人数であるため、一人一人に応じた指導は十分にできる状況にある。しかし、少人数であるために集団での思考をする場がどうしても限られてくる。応用したり活用したりすることに課題がある。また、きちんと最後まで話さなくても相手に伝わるという状況があり、相手に言葉できちんと伝えるというコミュニケーション能力にも課題がある。</p>
---	--

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標 値	(10 )月			2月		
						i 達成 値	j 達成 度	k 評価	i 達成 値	j 達成 度	k 評価
	豊かな表現力を育成する。	対話する力を育成する。 (反応しながら聞く技能を身に付ける) (伝える技能を身に付ける)  音読・群読の技能を身に付ける。	授業等で対話する場面を設定し、話す・聞くの技能を習得をする。 話し手の話を受け入れながら聞く習慣を付ける。 相手を意識して話すことを繰り返し指導する。  国語の時間に必ず音読の時間をとる。 表現朝会等で年間を通して全校で音読・群読をする。	うなずきながら聞くことができる児童を100%にする。 順序や中心を考慮して分かりやすく話すことができる。  月に一編以上の詩を覚える。 教室に響き渡る声で音読できる。	100	76	76	C	77	77	C
					100	73	73	C	77	77	C
					100	100	100	A	100	100	A
					100	90	90	B	93	93	B
	積極的な生徒指導を推進し、生き生きと活動する子どもを育成する。	あいさつ・返事の徹底をする。  たてわり班の活動を充実させ、よさを感じることができる。	毎月、一週間あいさつ週間を設定し、地域の方、来校者等に対して気持のよいあいさつができる。 名前を呼ばれたら「ハイ」と元気よく返事をする習慣をつける。 そうじ、集会活動をたてわり班で計画的に実施する。	あいさつの振り返りで、10人以上にあいさつをした児童を100%にする。 いつでも、どこでも元気のよい返事ができる。 アンケートを通してお互いのよさを見つけることができる児童を100%にする。	100	82	82	B	96	96	B
					100	89	89	B	95	95	B
					100	88	88	B	100	100	A
	豊かな心を育てる。	道徳教育の授業を充実し、感謝の心を育てる。  読書好きな子どもを育てる。	道徳の授業の足跡・記録を残していく。  行事等で感謝の気持ちを表す。  親子読書等を行い、読書に興味をもたせる。  読む冊数やページの目標をたて、読書マラソンを実施する。	感謝の気持ちが表れている言葉が自然にできる。  家庭で週一冊の本を読む。  目標の冊数やページを達成する。	100	89	89	B	95	95	B
					100	100	100	A	100	100	A
					100	80	80	B	90	90	B

[k:評価]  
A:100 (目標達成) B:80 (ほぼ達成)<100  
C:60 (もう少し)<80 D:(できていない)<60

